

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Internet Computer	 Stacks	 NEAR Protocol
中堅	 Dash	 Pendle	 Enjin Coin
新規	該当なし		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは リサーチ担当の目線で、関連ニュースから中長期的に、いい影響がありそうな銘柄に表示しています。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

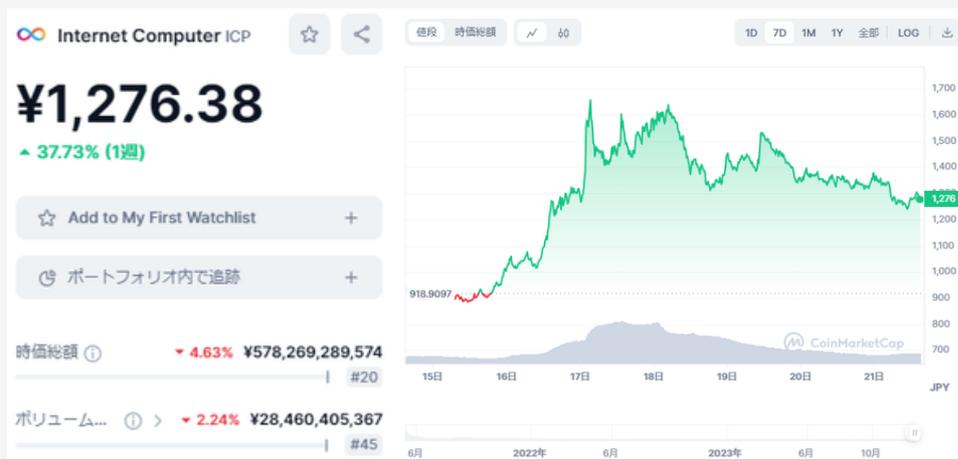
トップ銘柄 分析ガイド 12/21

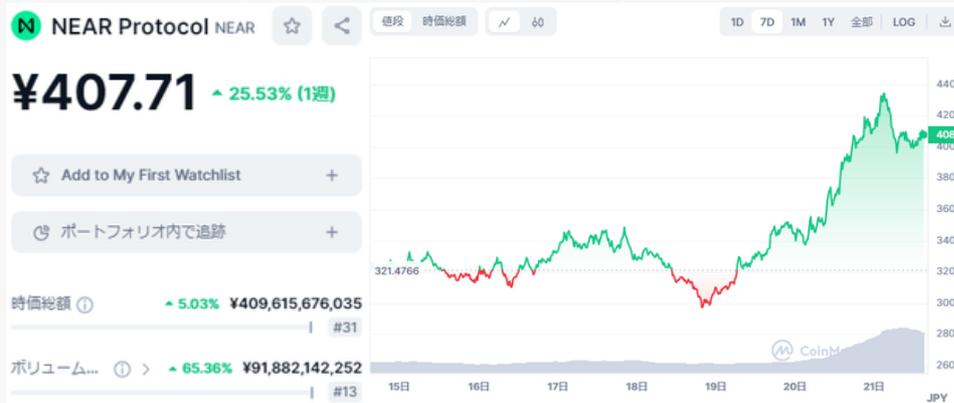
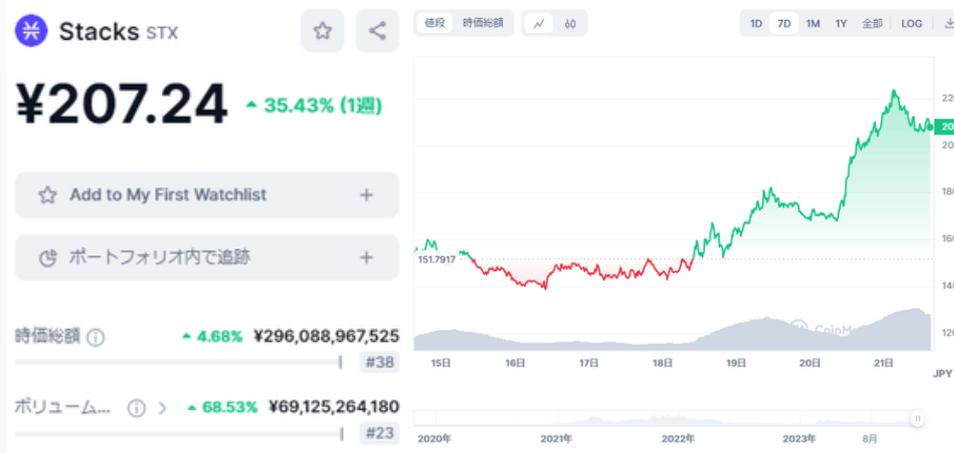
本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	上昇率 7days
#20	 Internet Computer	Platform	¥578,269,289,574	¥1,276.38	9.14 倍 (SOL比)	#45	▲ 37.73%
#38	 Stacks	Platform	¥296,088,967,525	¥207.24	17.84倍 (SOL比)	#23	▲ 35.43%
#31	 NEAR Protocol	Layer 1	¥409,615,676,035	¥407.71	93.17 倍 (ETH比)	#13	▲ 25.53%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲2.00%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

InternetComputer：ICP

注目ポイント：GDPR準拠のヨーロッパ(EU)用サブネットの導入&Gaudi Knowledge,Moon Labsとの戦略的提携
 インターネットコンピュータ (ICP) のGDPR準拠EUサブネット導入とGaudi Knowledge、Moon Labsとの提携は ICPトークン価格上昇の重要な要因と考えられます。サブネットは、EUのデータ保護基準に準拠する**安全なプラットフォームを提供し、プロジェクトの市場に対する信頼を高め**ます。一方、Gaudi KnowledgeおよびMoon Labsとの提携は、**ガウディの芸術的な作品と建築デザインがICPのメタバース内で再現され、新たなデジタル体験を創出を目的**とします。このようなニュースが価格上昇に貢献していると考えられます。

Stacks：STX



注目ポイント：有名億万長者のティム・ドレイパー氏からの支持を受けた影響(12/19:インタビュー動画公開)

ドレイパー氏は、12/19のインタビューにて、**SECに承認された唯一のビットコインのネットワークをベースとした代替コインであるStacks (STX)** について、「これらのプロジェクトは非常に興味深い傾向であり、マイクロソフトのように進展すると思います」という発言をしており、この影響でトークン価格が高騰しているものと考えられます。**ビットコインの注目と連動し注目を受ける可能性のある銘柄として中長期的にも話題にあがりやすい立ち位置**を持っています。※本プロジェクトは、12月1週目の週次分析レポートにて、取上げていた銘柄となります。

NEAR Protocol：NEAR

注目ポイント：重要なパートナーシップの発表&再注目されたレイヤー1分野

最近、二つの重要なパートナーシップを結びました。一つは、インドの教育分野でブロックチェーン技術を利用するためのネットワーク開発を目指すIDS Inc.との提携(12/15発表)です。もう一つは、ブロックチェーンの進化をサポートする新しい技術の開発に焦点を当てたポリゴンラボとの協力(11/8発表)です。これらの提携は、**NEARプロトコルの技術的な発展を促し、投資家の関心を集める要因**となっています。また、レイヤー1分野も**SolanaやAvalancheのトークン価格の高騰につれ再注目**されている点も好材料となっているようです。

CMCサイト内 検索トレンド中堅銘柄 新規リスト銘柄

狙い目：中堅銘柄・新規銘柄 発掘ガイド 12/21

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅・新規銘柄を見つけるために、二つの重要な分析手法を採用しています。一つ目は、Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。二つ目は、CMCに新たに掲載された銘柄を対象に、時価総額ランキングで50位から200位の間に位置する新規銘柄があるかどうかを調査し、その情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量ラ ンク	上昇率 7days
#134	 Dash	Privacy	¥51,620,481,014	¥4,454.85	11.15倍 (ICP比)	#111	▼6.87%
#174	 Pendle	DeFi	¥35,260,558,592	¥149.47	21.71倍 (DAI比)	#230	▼9.05%
#135	 EnjinCoin	Gaming	¥50,070,031,635	¥50.07	798.64倍 (ETH比)	#199	▲0.85%

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

Dash：DASH

注目ポイント：2023年12月14日に実施されたDashCore v.20のハードフォーク

DashCore v.20のハードフォークは、Dashネットワークの安定性と信頼性を向上させるものでした。このアップグレードは、ネットワークの意思決定プロセスをより公正かつランダムにすることを目的としており、これによりネットワークの安全性が強化されました。また、Dashの開発と成長を支えるトレジャリー資金の増加も含まれています。しかし、Dashの秘匿性はマネーロンダリングの懸念を招き、日本のような厳格な規制がある国々では取引所での取り扱いに問題があるため、ハードフォークが業界全体に与える影響は限定的かもしれません。

Pendle : PENDLE

注目ポイント：Real World Assets (RWA) への市場の高まる注目

Pendleは、Real World Assets (RWA) 分野での注目度の高まりと、2023年8月にBinance Labsからの出資を受けたことにより、業界内で関心を集めています。Coingecko(大手分析サイト)のRWAカテゴリーで6位にランクされており、**RWAへの関心が増すにつれて、Pendleへの注目も高まる可能性**があります。ただし、この注目は外部的な要因によるものであり、Pendle自体のアップデートやマーケティング要素に依存していないため、**注目度の持続性については検討が必要**です。

Enjincoin : ENJ

注目ポイント：大規模な報酬プログラムを発表

エンジンブロックチェーンは、セキュリティを強化するために、大規模な報酬プログラムを開始しました。このプログラムでは、合計2億5千万エンジンコイン（現在レートで約130億円）が、**エンジンコインをステーキングする投資家に対する報酬などのために用意されています**。この報酬は2024年1月15日から始まり、10回に分けて支払われる予定です。※TSUDOIサイトにてプロジェクト概要を確認いただけます。詳細は[コチラ](#)(2023/9/12更新情報)

中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲2.00%となっております。





CMC新規リスト銘柄：調査日12/21

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	リスト 日時
12/14~21に、82銘柄リストされましたが時価総額ランク50-200位に該当する銘柄無し。							

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-platform.co.jp/>